

## 学校づくりアンケート（教職員向け）に寄せられた声の紹介

2021年2月 尾北教職員労働組合

※ 学校づくりアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。寄せてもらった主な声を紹介します。各課題についてさまざまな角度から考えたいと思います。

5

### 1 新型コロナへの対応と学校生活

#### （感染予防対策等による負担）

- マスクを嫌がる児童の指導で困る。
- 検温カードを見る時間に、他のことがやれていると思うと負担を感じる。
- 10 ●朝の検温のため、当たり前のように時間外勤務を求められ、家庭の事情でそれができないことで肩身が狭い思いをした。
- コロナ対策をどこまでやったらよいのか。何が良くて何が悪いのか、境界が不明確。
- 今は消毒や清掃を業者の方をお願いすることができ助かっていますが、来年度以後教員がやることになった場合、負担になります。
- 15 ●マスク着用の声かけ。
- 自分が感染源にならないための、行動範囲自粛に対するストレス。
- 教職員同士でもコロナに対する意識レベルがバラバラであるため、コロナに関する会議はいつも長くなるのがストレスである。
- 9月まで毎日、消毒（清掃）作業をした。TTということで、曜日ごとに何時間目に行くか決められていたが、授業に途中から行くのは気が進まないの、毎朝行った。結果、勤務時間前から行うことになった。消毒作業も一貫性がなく、いろいろ変わるので大変だった。
- 20 ●今は、ありませんが、以前の毎日の帰りのST後の消毒作業。
- 消毒作業などが大変で、時間がかかっているそうなので、その作業専門の人をやったらどうか。
- 25

#### （コロナ禍での学校生活の心配）

- 新型コロナウィルスに対して、子どもたちがとても敏感になっており、手洗いやマスクの着用など自主的に声を掛け合っている。そんな中、敏感になり過ぎではないかと思われる子どもの言動があり、それがイジメにつながらないかと、ヒヤリとさせられたことがある。
- マスク等、結局は半強制的にしなければならない雰囲気がある。
- コロナ禍の生活で子どもも先生も疲れやストレスがたまってきている気がする。ささいなことでトラブルになりやすい。
- 35 ●昨年度より不登校の子が増えた気がする。コロナで授業再開が遅れた分、無理に進める教師（遅れを不安に感じている教師）や、子どもどうしの心のつながりを不安に感じる子どもが増えている気がする。
- 密は避けた方がよいが、子どもどうしがどうしても近くなってしまうのをどこまで許容すべきか迷う。
- 40 ●心理的には自分がコロナに感染したときの学校への影響（仕事の進捗や保護者から風評）が心配である。
- コロナの対応で職員間の共通理解の徹底が不足している。対応の違いに困惑するこ

とがある。

- 不登校の子が増えているように感じる。コロナだけが原因ではないが、影響はあったのだと思う。
- 35人もいる児童に三密を完全に避けさせるのは不可能。かといって、指導を放棄するわけにもいかない…。
- 子どもたちの間で、なぜマスクを付けないのか疑問がわいた。
- 保護者にマスクについて持論があり、学校でマスクをしませんと連絡ノートで知らされた。教育委員会にもその旨伝えられた。
- 学校生活で、制限が多くあるので、子どもたちの精神的なストレスによるトラブル（言葉の暴力【三密やマスク問題等】）が心配。
- 子ども同士の接触を何度呼びかけても止められそうにない。
- 生徒の生活態度を見ていると、三密がさけられていない。感染しないのが不思議。慣れから来る意識低下か。
- 感染予防に配慮する一方で、子どもたちは放課は密に接していて、どこまで厳しくしていくべきなのか対応に悩む。
- マスクの使用をお願いしていたが、なーなーになってきた子どもが出てきて、指導に困った。
- 子どもの手洗いがだんだんおざりになってきた。
- ガイドラインを学校がしっかり作り、全体に周知することがなされていない。色々なことを周知できるシステム作りとヒューマンエラーをなんとかしてほしい。

#### （学習活動や行事への対応）

- 指導時に、マスクを外さないといけない場面がある。早くマスクなしでもよい状況になってほしい。
- 前年度の積み残しが大きな負担となりました（特に算数）。子どもたちもしっかり定着できないまま次々と進んでいくため、不安に思っているのではないかと思います。
- 個別の学習活動ばかりで、子どもどうしが関わり合い、学び合う活動がほとんど見られなくなった。20人学級にすれば空間的にも精神的にも余裕のある教育ができる。今こそ実現してほしい。
- 感染症予防のため、学年行事、異学年交流、全校集会、社会見学、調理実習などの体験ができなくなった。
- 「できる範囲で」と行事が設定されましたが、どの先生も「できる限り」最善をつくしてしまうので、疲弊してしまいます。思いきった行事の見直しを英断してほしいかったです。
- 子どもたちにとっては、かけがえのない一年。6年生には一生に一度の6年生。行事をやるかやらないかではなく、どうやるかに全職員が向けると良いと思う。
- マスクをすぐにはずしてしまう子に対して何度も指摘するのが大変。冬に再び休校などが無いのか、そうすると授業時数が足りるか不安。
- 学習支援が十分に行えず、習熟が足りないまま進級を迎える可能性が高いこと。
- 行事によって成長する機会があまりに少ない。
- コロナを理由に行事が減っているのが当たり前の雰囲気はなくしたい。

●運動会や学習発表会への対応が各校でバラバラで学校裁量とされているが、市町教委である程度の統一ラインを示してほしい。

●結局、対面を気にしてばかりで、行事を精選できない。活動に制限があるため、やりたいことができない。

- 5 ●withCORONAは、数年続きます。児童・生徒間のコミュニケーションの力を育てようという「新しい学力観」に対しては、逆方向の指導が求められています。いずれの方向性にしろ、これまでの指導法よりは、確実に手間、ヒマがかかる取組です。その中に、時間外勤務の問題もクローズアップされてきました。

## 10 (オンライン学習)

●オンラインに向けての準備等はかなりの負担が予想される。それに向けての研修も含めて。

●今後、オンライン学習を行うことになった場合、慣れないオンラインでは教室での対面式と比べ、分かりやすく楽しい学習を配信できる自信がない。

- 15 ●オンライン学習を推進しようにも機器や校内のWi-Fi環境が整備されていない。特にLAN回線の速度やデータ容量が脆弱すぎる。

●オンライン授業用のハードは納品されるが、使い方を早急に検討する必要がある。

## (行政のコロナ対策)

- 20 ●対策がすべて教職員に任せられ、行政の対応がないことへの不満と不安がある。

●三密にならないための施設や設備の改善を！手洗いが冷たい水では無理！

●何かを導入する際は、教職員の負担にならない方法を市教委はよくよく考えて実施してもらいたい。

- 25 ●夏休みの縮小を考える前に、何の教科がどれくらい履修できていないかを市町で調べ、縮小を決めてほしかった。国が認めているのに、ただ時間数の確保に先走ったのはいただけない。

●子どもたちができないトイレ清掃など、業者の方が担ってくれる部分もある。コロナ対策で多忙化に拍車がかかる中、教職員にとってはありがたい。

- 30 ●岩倉市では教職員の負担にならないよう消毒など配慮していただいているが、コロナ感染が心配された6、7月頃、江南や大口、扶桑、犬山市などでは教職員が教室やトイレの消毒・清掃作業でつかれ切っているうわさを聞き心が痛い。

●行政の対応が基本的的に外れで、かつスピードも遅いです。

●学校ごとに対応できるようにしてほしい。

35

## 2 小学校高学年での教科・英語

### (英語嫌いを生み出す)

●「英語」を習い事にする子としない子との差がますます開いている。次の単語が出てきたり、書くことが増えてきたりして英語嫌いが増えている。

- 40 ●小学校から早めるのではなく、中学校でのスピードをゆっくりにして、定着を図るほうが良いと思います。小学生は、やるが多すぎ。

●小学校で英語嫌いにならないようにしたい。

- 3、4年生の外国語活動から5、6年生への英語へのレベルアップが高すぎる。急に内容が難しくなっていると思う。あれは嫌になって当然。
- 実施することは決定されているので、子どもたちにとってよいものにしたい。小学校での英語・外国語活動を通して、子どもたちが英語に親しむ経験を積むことができるようになってほしい。

#### (専科が必要)

- 英語もそれなりに指導できる人材を増やすしかないと考えます。それは、採用面でも育成面でも。いずれにしてもお金をかける必要があります。
- 本校は、英語は専科とNETが担当することになり、担任の負担が減り、児童は英語授業を楽しみにしている。全ての学校で実施されることを望みます。
- 英語専科の先生で、全学級の授業をしてもらえるとよい。
- フラッシュカードの印刷やカードの作成などの負担軽減が必要である。専科教員を配置してほしい。
- ALTの先生との打ち合わせ時間もなく、うまく連携できず、持て余しているのが現状です。
- 岩倉市は専科の教諭が指導するため、担任として多くの負担を感じることはない。小学5年の息子は、英語の授業がとても楽しいと報告してくれる。小学校高学年が教科担任制をとるのであれば、英語の教科化は、専科が必須。
- ALTを専科にして、担任は空きにしてはどうでしょうか。
- 専科の先生による指導だと、英語力がさらに上がると思う。

#### (その他)

- 評価を通知表で、文章表記するようになっているが、マスク姿で発音しているかどうか等実態把握できない。(3、4年)
- 英語も大切でしょうが、母国語が大切です。
- 国語が不十分の状態では学習したら、両方出来なくなるのでは？
- 多忙化に拍車をかけていると感じる。以前のように、小学校ではNETと共に英語に慣れ親しめば十分だと思う。
- 各年度で英語の学習歴が異なるので、学習した内容を生かした活動をしようとするとき、外国語の指導が大変そう。
- 小学生の時から英語の学習を積み上げることは大切。しかし、やらねばならないことが増えても教員の負担は軽減されない！
- 教職員全体の英語力をあげる手立てを。
- 以前よりはましになった気はするが、総合や道徳も含めて、あれこれと取り入れ過ぎていく気もする。
- 小学校も教科担任制(高学年のみ)にすればよいと思う。
- 多忙化にはならない。それより総合を減らしてほしい。
- 英語をやるのは良いが、その時間をつくるために何かを削るような指導要領にしてほしい。何でもかんでもできるわけではない。

### 3 時間外勤務や割り振り、勤務時間・休憩時間・年休・療養休暇など

#### (割り振りがとりやすい環境づくり)

- 制度としては、平日も割り振りがとれるはずなのに、実際は難しい。
- 何が割り振りにあたり、何があたらないのか、ライン引きし、各職員の必要な割り振りの時間と、割り振りをとったかを把握すべき。
- 会議延長や朝の鍵開けなどあっても、割り振りの指示がない。
- 割り振りをもらっても、上手く生かせていない。資源回収など、割り振りがあれば土日の作業はありみたいな風潮はなんだろう。
- 平日にも、割り振りを取りやすい環境ができるとありがたい。
- 割り振りをするように言われるが、取れない(取り方が分からない)。
- いつでも気軽にとれると有り難い。
- 何だかんだと言っても、平日に年休や割り振りをするのは難しい。
- 割り振りをするよう校長は言うが、それをする教員は誰もいない。
- 割り振りは、校長によって考え方が違うから、どう考えたらいいのかわからない。

#### (割振変更簿の周知と活用)

- 割振変更簿が設置され、割り振り対象の業務と割り振りの時間について、その都度、校長先生から説明があり、ありがたいです。
- もっととりやすいように分かりやすく毎年説明してほしいし、新任さんや異動されてきた方への説明もしてあげてほしい。
- 口頭のみでは割振変更簿を作る意味がないと思う。また割り振りがとれたかを把握していないのに、「計画的に年休を」という職場にしてほしくない。

#### (その他)

- 早く帰宅するよう言われても仕事量が減っているわけではないので、帰れない。帰るとしても結局家で仕事をするだけなので、勤務時間のことを言われるのは嫌です。
- タイムカードを、勤務時間外が45時間にならないように、帰る前に押す人がいる。
- 療養休暇は、知らない先生が多いので、該当の先生には、管理職から声かけして知らせてほしい。
- 休暇申請をする際に、自身や家族の病名を明記した理由書等を提出するところがあるが、休暇処理簿が個人別になっておらず全員分が1冊にとじられていて、どの職員でも他の職員の処理簿を簡単に見ることができる状態であるため、提出しづらい。
- 平日に年休を取ろうにも補欠を組むのに苦労する。余裕をもった人的配置をお願いしたい。
- ほんの少しだけ体を休めたい…と思っても休める場所はない。校長・教頭は「保健室で休めばよい」と言うが、子どもがいる場所で休めるはずなどない！あまりにも不理解です。
- 労働者としての権利を維持しようとする、他の仲間に「しわよせ」が…。理由は、やらなければならない事が増え続けてきていることだが、教育行政のあり方に問題があるからだと考えます。
- 旅行や私的な用事で、平日に休めるような人員のゆとりがほしい。

- 年休を腐らせているのが現状。割り振りより給料アップを。
- お金さえもらえれば、多く働くことは苦ではないので、時間外労働に対する賃金の良いシステムを構築してほしい。
- 校長の人柄によって、要望が伝えやすかったり伝えにくかったり…。
- 5 ●担任とそうでない人の差が大きい。
- まだ「早く来ること」「遅くまで仕事していること」が美德とされている、または評価されている気がする。効率よく仕事をしている人を評価すべきだと思う。

#### 10 4 持ち時間数や多忙化解消への取り組みなど

##### (空き時間確保)

- 昨年まで、特別支援学級を担当していたが、通常学級の担任より、時間数が多かった。全部つまっていた。他の教師に入ってほしいと頼んでも、児童の特性上、TTじゃないと無理と言われた。特別支援学級の人数が増えつつある現在、これでは、
- 15 多忙化が進む一方である。特別支援学級も空き時間が週に1時間でもあるとありがたい。
- 学年によって持ち時間に差があるが、言い出しにくい。自分は前期27時間、後期26時間で、かなりきつかった。(小学校)
- 1日2時間以上の空き時間確保はできていないので実現してほしい。(中学校)
- 20 ●定時で帰れるようにするには、1日1時間の空き時間は、まず必要。
- 教頭・教務・校務が単独で授業するのはもちろんだが、再任用の先生にも、もっと単独で教科を持ってほしい。
- 特別支援担任であっても、一週間に2時間ぐらい空き時間、リフレッシュ時間がほしい。
- 25 ●どの学年ももう少し空きコマがほしい。
- 空きコマが、結局空きにならないことが多い。交流先で授業がなくなる。
- 1日1時間以上の空き時間などない!
- 週26時間働いています。5h×4+6h×1

##### 30 (業務内容・行事の精選)

- 仕事内容の精選をしないと、むしろ多忙化している印象をもつ。余裕がまったくくない。持ち時間数が減っても、授業時間(子どもの前に立つ時間)が減るだけで、授業以外の業務を減らさないかぎり、多忙化解消にはなりません。
- 行事の精選を抜本的に行っていないと多忙化解消にはなりにくい。子どものため
- 35 にはとはいうものの、それが負担になっていることも多い。
- コロナ禍により負担が大きくなっているため、踏み込んだ行事の見直しが必要である。
- 減らすことより増やすことを優先している。増やすなら何かを縮小などしていくべきでは。
- 40 ●教材研究に行事の準備、校務分掌に保護者への連絡など、勤務時間内で行える仕事量ではなく、心身共に負担が大きいと思う。
- コロナなので、行事が減り、多忙化は少し解消した。

- 校務分掌をもっとちらしてほしい。
- 高学年の先生の負担が大きすぎる。校務分掌を、もっと低学年の先生方や、年配の方にも平等にふり分けてほしい。
- 行事を例年どおり行っている。多忙化解消になっていない。
- 業務内容の改善、教員の意識改革、双方ともあまり進んでいる気がしない。
- 個々の教員も効率の良い働き方を考えるべきだと思います。しかし、通例などで行っている目の前の子どもたちに全く還元されない無駄な仕事は我々がやるべきではないと思います。そういったやめるにやめれない業務を減らして行って欲しいです。

#### （教員・支援員の増員）

- 教職員の人数、支援員の人数を増やすことを望みます。
- 教員の働き方だけでなく、人員を増やししたり、仕事を分担したりするなど、従来のやり方から脱却していかないと人材がなくなるのではと思う。
- 先生方の多忙化の最大の理由は、児童の提出物等のチェックだと考えます。1学級の少人数化が多忙化解消の唯一の道だと思います。
- 英語・情報・理科の時間給講師の採用と教師の増員が必要。

#### （その他）

- 学習指導要領が変わらねば、多忙化解消は実現しないと思う。
- 定時退校日の徹底。難しいと思いますが、制度だけ整っても実践されなければ意味がない。
- 時間の確保や、多忙化解消のためという言葉は聞かれますが、実質的には忙しさが増すばかりです。
- 成績管理をソフトでやり始めたので、例年よりは処理が楽だった。それ以外の仕事は変わってないように感じる。
- 多忙化解消ワーキンググループ会議が開催されない。毎年話し合うことが大切だと思う。
- 子どもから徴収している給食費の会計事務を教諭に負担させるのはおかしい。何のために学校に事務職員が居るのでしょ。毎月、教諭が全校分の給食会計事務を負担している現状を何とかしてほしい。
- 精神的に難題を抱えて、精神衛生上大変よくありません。
- 高学年担当者は低学年担当者より仕事が多く多忙である。給与アップで対応していただきたい。
- 学校のシステムも見直してもいいと思う。

## 5 その他

### （教員免許更新制）

- 教員免許更新講習を受講した。自分が学びたい分野の講義を探したため、遠方になってしまい、宿泊も兼ねてすごい出費だった。教員が「自ら学びたい」という気持ちを大切するという意味で、多少の公的な補助があっても良いのでは。
- 教育免許更新制は「天下の悪法」です。といい続けて10年ひとまわりしてしまい

ました。とても残念です。

- 教員免許更新制は、負担が大きい割に学びが少ない。

### (駐車料金)

- 5 ●駐車料金はやっぱり納得できません。全員が公共交通機関を使ったら、財政が破綻することを考えると、むしろ補助が出て良いと思いますが。
- 駐車料金を徴収されている地区とされていない地区があるのはおかしい。一律無料をお願いしたい。
- 桜の木の下が駐車場で、1500円も払うなんて、考えられない。
- 10 ●せめて毎年駐車料金を支払う理由をきちんと説明してほしいです。もし、すでに説明をしているのであれば、末端の教員まで全く届いていません。周知の仕方を変えてください。
- 駐車料金がかかる自治体と、かからない自治体があるのはおかしいと思います。
- 駐車料金の減免をお願いしたい。

15

### (その他)

- 学校訪問は、コロナの今年のように授業参観のみでいい。全く困らないし、負担感がなくなってよかった。それより、校内研修を大切にしたい。
- 学校訪問は2年に1度でよいと思う。他教育事務所のやり方を調べ、要望していくべき。昔からの慣習が強いと思う。
- 再任用（ハーフ）ですが、校長先生によって勤務時間のとらえ方が違うのにびっくりしました。休憩時間を入れると、結局、帰宅は3時ごろになってしまいます。入れないと1時半になります。学校運営上ではなく、働く人の立場も考えてほしいと思いました。（結局、交渉して1時半には帰ってますが……。知らないと言われるがままです。）
- 25 ●セクハラについて、若い女性教諭を下の名前で呼び捨てたり、名字で呼び捨てたりすることが気になります。
- 1年生の学級に教育支援員の配置をお願いしたいです。
- ほう・れん・そうがしっかりできる職場をつくっていただきたい。あたりまえをおしつけて、あたりまえができないのでは信頼関係がなくなってしまう。
- 30 ●道徳、外国語の所見はとても書きにくく、保護者にも伝わりにくいものとなっております。負担ばかりが大きくなるので廃止してもらいたい。
- 教員評価の逆で、管理職の評価は一般職員がするようにしてほしい。
- 公務員の給料は減り、負担ばかり増える。金額を民間に合わせるなら、残業代を出して欲しい。
- 35